



SPIRAL REPORT

2019コープしが サステナビリティ報告書

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



コープしがは、正直に
「くらしの安心とぬくもり」を提供します。
そして人のつながりと
びわ湖を大切に作る心を育みます。



「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。
巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、さらに求心と拡大、
進化の奇跡などの発展を表しています。

日頃より、コープしがの事業と活動を支えていただき
誠にありがとうございます。

1970年代にコープしがの前身である4つの地域生協が滋賀県に誕生しました。環境汚染、公害、有害食品の氾濫など、高度経済成長のひずみの中、ひとり一人がお金を出し合い、自分たちの力を合わせて生活協同組合をつくり、有害添加物の排除や琵琶湖を守るせっけん運動、生産者との顔の見える産直の関係を積み重ねてきました。その思いは今でも継承しています。

いま、行き過ぎた資本主義や地域コミュニティの崩壊などが社会問題になる中で、あらためて協同組合の存在価値が高まっています。

協同組合は、近代化や産業化のなかで取り残された個人や農民、労働者などが集まって、くらしを守るため、生活物資の共同購入や購買、医療、共済などを協同で行う協同組合として生まれてきました。ともに相互扶助の原理で資本主義に対抗する仕組みとして発展してきました。

国連が2012年を国際協同組合年とすることを決めたことも、2016年にユネスコが協同組合を「無形文化遺産」に登録したのも、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されたものです。

国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、協同組合への期待も高まっています。倫理的な消費を促すエシカル消費とともに、SDGsに関わる取り組みは、わたしたちコープしががこれまで進めてきたことです。

生産と消費をつなぐ産直・地産地消の取り組み、環境保全の取り組み、飢餓と貧困から子どもを守るユニセフ活動等、5つのたいせつの取り組みを通してさらに広げて参ります。

人の組織としての協同組合は、組合員がくらす地域に活動を広げ、コミュニティをつくり、助け合い、さらに環境にも配慮したくらしを共有できる存在になり得ます。一人ひとりの組合員が、くらしを通じて地域全体のことを考える。だからこそより良い地域を創造することができます。

みんなが力を合わせてささえあい、助け合い、共に生きる時代。誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくり、対立と分断の競争ではなく、より良い社会を築く協同・共生社会を築いていきましょう。

2019年6月
生活協同組合コープしが
理事長 西山 実

INDEX

生協とは..... 3	共に学び続ける..... 9	つながり..... 13
生協とは	たべるたいせつ	
コーポレートガバナンス	びわこたいせつ	
事業概要	くらしたいせつ	
組合員の声を聴いて..... 5	いのちたいせつ	
想いをカタチに（事業）..... 7	ちいきたいせつ	
	笑顔あふれる未来のために... 15	
	コープしがの新たな挑戦	
	働きがいのある職場づくり	
	事業活動における環境報告... 17	

コープしがとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが長年めざしてきた「協同して創ろう、笑顔あふれるくらし」のゴールと同じです。くらしの営みは、ずっと続きます。私たちが安心して暮らすことを当たり前の価値として取り組んでいる多くの事業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。また、私たちが安心して暮らすために、小さな「私にできるコト」を積み重ね、寄せ合って大きな力になるのが生協です。

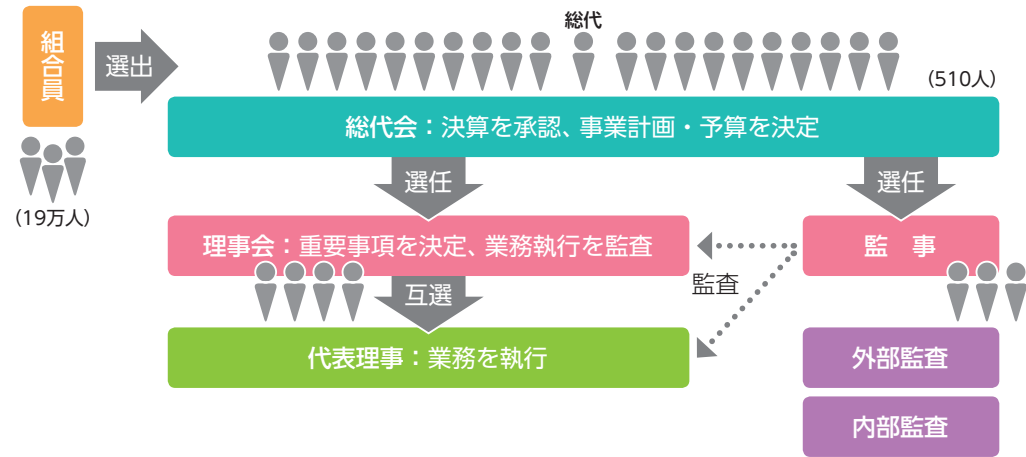
コープしがは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。



生協とは

生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。
消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。
「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かな暮らし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

● コーポレートガバナンス



機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。

● 内部統制基本方針に基づく運営

[コンプライアンス]

「コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り、すべての利害関係者、とりわけ組合員のくらしに役立つために行動し、その使命を果たすために全力を尽くす」ことを誓い、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。実践に向けて毎年全職員が学習を行い、セルフチェックで達成状況の確認を行っています。

[リスクマネジメント]

コープしがの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

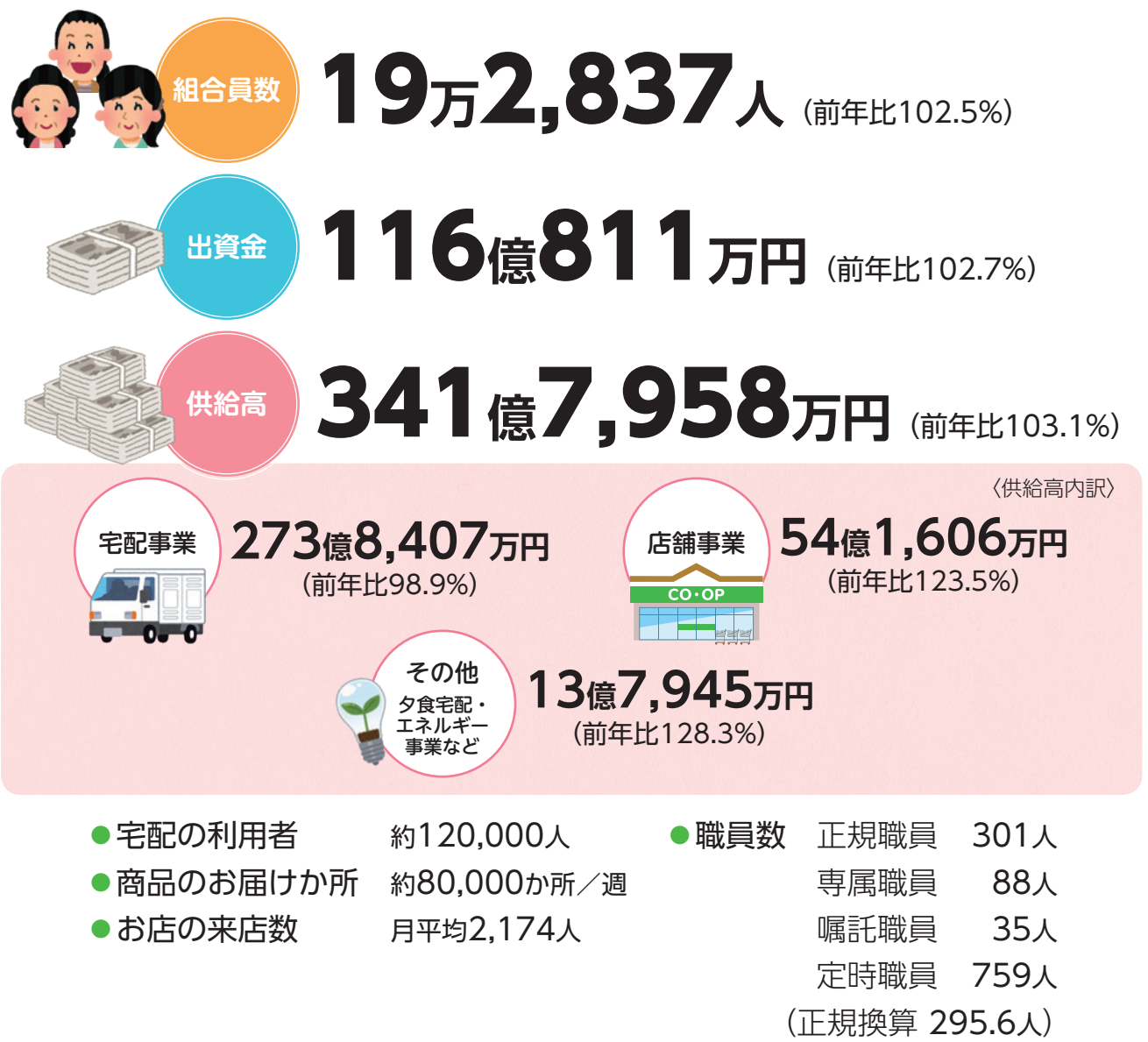
[個人情報保護]

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

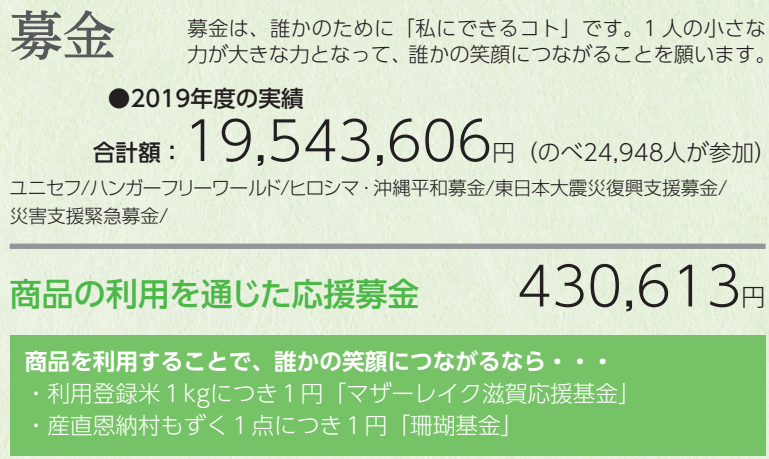
[危機管理]

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

事業概要



組合員と力を合わせて



全国の子供たちとともに
CO・OPレッドカップキャンペーン
4,887,022円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト
10,910,825円

組合員の声を聴いて



「商品やサービスを利用して気づいたこと」や、「くらしの中で感じていること」など、組合員から寄せられる声の積み重ねが、今日のコープしがをつくっています。そして、組合員の声の厚みが、コープしがの厚みになっていきます。

さまざまな組合員参加の場で



ぱくぱくパーティ

生協が無料でお届けする商品を囲んで、楽しくおしゃべりをしてもらう取り組みです。おしゃべりの内容（ぱくぱくメモ）から見えてくる“組合員のくらし”は、方針づくりや運営に活かされます。また食をきっかけにコミュニティとコミュニケーションが生まれることをめざしています。

- 参加人数：19,400人
- ぱくぱくメモ：4,495枚

機関会議

生協は、組合員の代表である約500人の総代が、毎年の総代会で方針や事業計画を決定します。総代会に向けて総代の声を聞くために、県内58か所で会議を開催しました。組合員、役職員が一緒になって聴き、話し合う貴重な時間です。

- 総代から出された意見：2,774件



チーム活動／ひろば活動／地域委員会

生協には、組合員の興味関心に応じて様々な活動のステージがあります。多くの組合員が、組合員の声を聴きながら、生協のしくみを利用して自分たちのやりたいことを実現しています。

- チーム活動：197チーム
- ひろば活動：28ひろば
- 地域委員会：25委員会



ご近所のママ友たちで公園の清掃をされました。

私もひとことカード

宅配の注文と一緒に気軽に提出できるご意見用紙で、商品リクエスト、質問、苦情など様々な組合員の声が寄せられます。

- 私もひとことカード：6,068件



コールセンター

毎日1,000件を超えるお問い合わせや電話での注文に対応しています。

- コールセンターへの問合せ：147,789件（電話注文をのぞく）

- お店に寄せられる組合員の声カードの枚数：866件



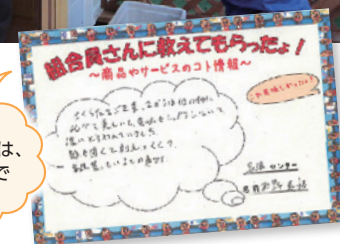
毎週のお届けで

宅配事業センターの組合員担当は、一人ひとりの組合員のくらしの困り事や要望をお話いただけるコミュニケーションを心がけています。「聴く」ことは大切な役割です。

- 組合員さんに教えてもらったよカードの件数：1,169枚



組合員さんに教えてもらった情報は、大切にみんなでも共有しています。



職員の声

「苦情」は信頼関係を気付くチャンス

商品に対する不満や意見、感謝の声など全ての声を聴き、親切丁寧に対応することは、担当者自身の成長につながるだけでなく、その声を生産者に伝えることで、生産者と組合員さんをつなぐ架け橋になると思っています。

長浜センター 組合員担当 福原 康史さん



想いをカタチに（事業）



組合員が、「くらしを良くする」ためにお金を出し合ってつくってきた生協の役割は、組合員の想いや願いを事業として実現することです。生協の商品やサービスの一つ一つが、組合員の想いから生まれています。

宅配事業

生協の宅配システムは、注文して商品が届くのは1週間後。「今の時代ちょっと遅いのでは？」と感じるかもしれませんが、決まった担当者が・決まった時間に・毎週、組合員に商品をお届けすることで、単に商品をお届けするだけではないお役立ちができていると考えています。



くらしをサポートするしくみ

●めくもり割引 ご利用者：約**31,400**人

子育て世代・高齢者・障がいをお持ちの方とそ
のご家族への配達手数料を割引くサービスです。

●赤ちゃんサポート 2018年度ご利用者：**5,700**人

子育て情報やサポート商品を、無料で毎月お届けして子育てを
応援するサービスです。（満1歳未満のお子さんをお持ちの方）

産直

生産の現場と消費をつなぐコープしがの産直は、「産地直結」。安全安心で持
続可能な生産を生産者・組合員・生協が共にめざします。

コープしがの産直がめざすもの

- ①生産者・組合員と共に生産と消費の知識を深めます。
- ②組合員・生産者相互の適正な利益確保と自然環境の保全を目指し、持続
可能な生産とくらしの実現に貢献します。
- ③生産者・組合員と共に食料自給率の向上と農水畜産業の発展をめざします。



組合員の声

私が生協に加入しようと思ったのは、宅配があるからでした。小さい子どもを
連れて買い物に行くのは至難のわざです。毎週玄関まで届けてくれるので助
かっています。

組合員 内田 嘉美さん



店舗事業

コープのお店は、現在3店舗（コープぜぜ店・コープもりやま店・コープか
たた店）。「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」があふれるお店をコンセプトに、
組合員の声に応え、新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。



お店でのお買い物をサポートするしくみ

お届け便

電話で注文された商品や、店内
で買われた商品をご自宅にお届け
するサービスです。

お買い物サポートカー

お買い物に行く交通手段のない方へのサービスで、コープぜぜ店とコープか
たた店で実施しています。

●登録者：**129**人（ぜぜ店86人／かたた店43人）



共済事業

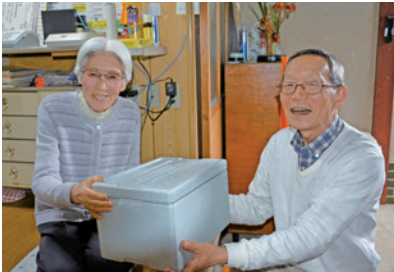
組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助けあいです。手頃な掛
け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声
で充実していきます。「請求忘れゼロ」を目指しています。



夕食サポート事業

ご高齢、ひとり暮らし、夜勤勤務、共働き、育児などで
忙しく毎日の夕食に困っている組合員に、夕食のお弁当
を組合員（サポー
ター）がお届け
する組合員相互
の助けあいです。



介護保険事業

コープしがは福祉を「一人ひとりの人が社会的つなが
りの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」と
考えます。

- ・訪問介護事業
- ・通所介護
- ・居宅介護支援
- ・介護保険外サービス



組合員の声

ひとり暮らしだと、1日誰とも話さない日があります。
サポーターさんとも長いつきあいで、毎日お会いするひとときが楽しみです。

組合員 楠 亀さん



共に学び続ける



生協は、誕生以来「学び」を大事にし続けてきました。中でも「組合員活動」は、生協ならではの学びの場です。くらしは、たくさんの人のつながりで成り立っていて、その状況は日々変化しています。誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、職員、生産者と共に学び続けます。

5つのたいせつ

たべる たいせつ くらし たいせつ ちいき たいせつ いのち たいせつ びあこ たいせつ

誰もが安心して笑顔でくらすための学びの視点を「5つのたいせつ」として、組合員と共に取り組んでいます。

たべる たいせつ

食の安全・品質保証の取り組み

4つの安全確認

- ①商品仕様書の点検：原材料・製造工程・包材表示などを詳しくチェック
- ②生産・製造現場の点検：栽培管理・衛生管理の状況を定期的にチェック
- ③商品の点検：「コープ・ラボ」で微生物・農薬・放射能・アレルギーなどの検査を実施
- ④お申し出対応の強化：組合員さんからの意見や苦情は日本全国の生協で共有し、危機管理対応をしています



コープ・ラボ：コープきんき事業連合の商品検査センター



愛荘町地域委員会：「未来につながる食選び～添加物学習会」

田植え・稲刈り体験

毎年、県内産直米産地を中心に5つのJAの田んぼで、田植え、稲刈り体験をしています。

●田植え・稲刈り体験の参加者：約**250人**



ファーマーチャレンジ隊

生産者と消費者（組合員）が直接交流し、野菜の植え付け・栽培管理・収穫体験を通して、地元農業や環境などへの理解が深まることを目的に県内のJAと共同で取り組んでいます。



組合員が企画・運営する多様な学びの場

湖魚応援隊：～琵琶湖の恵みである湖魚を食卓に上げてほしい!!～「湖魚の料理教室」



大津市西地域委員会：「生トマトを使ってケチャップを作ろう!」

コラム

生協が取り扱う輸入果物について



安全点検の流れ

1. 「農薬無散布」で栽培
2. 取引先の残留農薬検査
3. 国による輸入検査
4. 生協独自の検査



タイホームトンバナナの産地

農薬を使用していませんが、生協でも検査を行います。

生産者の顔が見える仕組み

バナナに貼られた生産者番号から、ホームページで生産者のメッセージが見られます。

ホームトンバナナ 検索



バナナの産地情報

生産者からのメッセージ



2018年9月
組合員・職員による産地視察

共に学び続ける



びわこたいせつ

夏休み宿題応援企画 「びわ湖の水といきものたち」 (2018/08/23)

びわ湖の水にいるプランクトンの顕微鏡観察や、釣り上げたブルーギルの解剖を親子で体験し、びわ湖を大切にすることを育みました。



ビワマスの学習と放流体験 (2019/3/23)

2016年から毎年実施しています。ビワマスの学習と稚魚の放流だけでなく、食することを通して、びわ湖の環境や恵みを身近に感じてもらうことをめざしています。



くらしたいせつ

被災地を応援する取り組み

※被災地の復興・現状に関心を持ち続けるため、継続して取り組んでいます。

● 募金

毎月11日前後の週に「くらし地域応援復興募金」を実施。

のべ**1,433**人が参加

● 震災を忘れない交流会

今年で7回目となりました。コープふくしまの理事をお招きし、組合員・役職員と交流しました。



● スタディーツアー in福島

組合員の声

「百聞は一見に如かず」は本当にこのことだと思います。被災地へ行くという意識は持っていましたが、実際見る被災地は思っていた何倍も厳しいものでした。住めなくなった数々の住居を見て、突然日常を奪われた方の悔しさを感じました。まだ参加されていない方は、是非参加していただき今のふくしまを自分の目で確認してほしいです。



いのちたいせつ

いのちたいせつ公演 「大友剛マジックと音楽と 絵本のコンサート」

「命・人・笑顔あふれる暮らし」の大切さを感じてもらおうと開催しています。今年で5年目となりました。同時開催の「マジックワークショップ」参加者から、習ったマジックを地域で披露したとの便りが届くなど、笑顔が広がっています。



ピースアクションinヒロシマ



職員の声

教科書で原爆は何かは知っていたけれど、行ってみて初めて「私は何も知らなかったのだ」と痛感しました。当時なくなられた14万人の1人1人に家族や恋人がいて…夢があり、それらを一瞬で奪ってしまったこと、とても悔しい気持ちでいっぱいになりました。

東地区事務局 堤 日奈



ちいきたいせつ

「できるコトづくり制度」 がスタート

できるコトづくり制度は、想いを持った人が一歩を踏み出すための学びの場「できるコトづくり講座」と、具体的な活動を支援する資金助成「はじめて助成・活動助成」でスタートしました。講座は約100人が受講、助成には合わせて81団体の応募がありました。



笑顔あふれるコープしが基金

淡海ネットワークセンターの未来ファンドおうみを通して、「人と人がつながり、笑顔があふれ信頼が広がる新しい社会の実現」をめざし、2013年に始まりました。

2018年度の助成団体

- 音と花と人と：「かりんと（花鈴人）」音楽と草花の活動を交替で継続的に行う活動
- フードバンクびわ湖：SDG s 推進プロジェクト「もったいないを笑顔と絆に」
- 異才ネットワーク：発達障害児（者）及び不登校児の地域理解・啓発の推進

つながり



生協は「おたがいさま」や「ささえあい」の精神を価値として大切にしています。私たちのくらしは、人のつながりでできています。組合員・職員一人ひとりの小さな点のつながりが、面となって広がっていくことをめざしています。

生産者と共に

コープしがのパートナーである産直産地は約70産地

お互い、対等・自立を基礎にしたパートナーシップを確立。産地や生産者との率直・正直なコミュニケーションを通し、生産実態を把握しています。また生産と消費の現場をつなぐため、多面的な組合員参加を推進しています。



産直・県内農産基金

産直商品・県内農産物の年間利用点数×1円を、その年の剰余金から積み立て、産地が被災した時のお見舞い金や、交流費用に活用しています。



産直産地へ台風21号被害のお見舞いを届けました（大中農友会）

マザーレイク滋賀応援基金

米登録商品利用募金（1円/1kg）など **338,215円**

珊瑚再生もずく基金

産直恩納村もずくのご利用1点に付1円 **92,398円**

コラム



産直こめ育ちさくらたまご 飼料米のとりくみ

「エサも地産地消」をスローガンとした飼料米の取り組みは今年で11年目を迎えます。産直こめ育ちさくらたまごの親鶏に給餌するエサのうち15%は、県内産のお米（飼料米）を使用しています。そのお米はJAグリーン近江、JAこうか、JAおうみ富士、JAレーク大津で生産されており、その量は年間約400t水田面積にして65haとなっています。

親鶏には初ママで与えています。飼料米は出穂以降、農薬散布はおこなわない、籼米水分は14.5%以下にするなどの品質管理をおこなっています。



全国の生協の仲間と共に

協同の力で被災地支援

7月初めの記録的な大雨によって、西日本を中心に甚大な被害が発生しました。被災地生協からの依頼を受け、全国の生協職員と共にボランティアセンターの運営支援を行いました。

（岡山県倉敷市真備町）



地域と共に

事業や活動を活かした見守り活動

コープしがでは、事業活動を通じて誰もが安心できる地域づくりに取り組んでいます。滋賀県全域をカバーしている宅配や夕食サポート弁当の配達業務を通じて、地域の異変を発見したときに自治体などにつながります。

協定締結の市町：米原市・草津市・長浜市・高島市（※）・近江八幡市（※）・彦根市（※）・愛荘町（※）・甲良町・多賀町・野洲市・大津市（※）（締結順） ※は、災害協定も締結している市町、他に守山市

滋賀県と滋賀県生協連合会は、「被害物資協定」を結んでいるため、上記以外の市町に対しても県からの要請で支援することが可能です。

子育て中のお母さんの見守り

1歳未満の子どもがいる家庭に毎月おむつなどを届ける事業を、2自治体から業務受託しています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認や、悩み事を聴くなど、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。

東近江市「見守りおむつ宅配便」 2016年7月～
甲良町 「見守りおむつお届け便」 2018年10月～



キッチンカー健康教室

平均寿命と健康寿命の差をどう埋めるかは、社会の課題です。食を支えるコープしがができるお役立ちとして2018年からスタートした出前型の健康教室です。（無料）

●2018年度開催回数：60か所



おたがいさまの気持ちで 組合員どうしのささえあい 「ささえあいサポート」

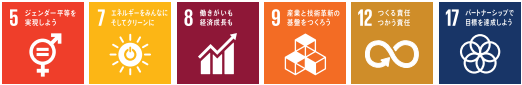
●利用時間 **3,485件**
●サポート活動時間 **5,805時間**
●サポーター組合員数 **1,882人**

2018年度ささえあいサポート内容（抜粋）

家事援助	1,484件
掃除・片付け・模様替え	757件
草取り・水やり・庭木選定	417件
ペットのお世話	358件
高齢者の話し相手・付き添いなど	207件



笑顔あふれる未来のために



組合員さんの暮らしに役立つ事業と活動の担い手としての人材確保と育成は、重要です。人づくり・働きがいのある職場づくり・安心して働ける職場環境・業務の効率化に取り組むことは、笑顔あふれる未来につながります。また組合員さんの暮らしを支える食の生産現場に関わっていかうとチャレンジしています。鳥取県生協・鳥取県畜産農協・行政などと共に設立した酪農メガファーム「みんなの牧場」と、農福連携の子会社として設立した「株式会社ハートコープしが」です。持続可能な社会に向けて、組合員・役職員・生産者、地域の人たちと共にすすめています。

みんなの牧場

日本の酪農が衰退の一途をたどる中、私たちの食を支える産直の牛乳や牛肉の生産現場を維持するために国の政策を利用して、生産者・行政・飼料関係者・生協が共に作った牧場です。良質な牛乳の確保・安和牛の提供・機械化による合理化をめざしています。現在、約400頭の搾乳牛から毎日11トンの質の良い牛乳が生産され、コープしがの生協牛乳120として組合員に届いています。



みんなの牧場生まれの1号牛 ロータリーパーラー

ハートコープしが



ハートコープしが

コープしがと生産者が出資して設立した障がいのある方の働く場づくりを目的とした会社で、食品リサイクルや資源循環を農福連携で取り組んでいます。リサイクル・クリーン部門では、オリコン洗浄やリサイクル品の加工、食品残さからの堆肥製造などを行います。製造された堆肥は、農業部門となるハウスにまかれ、小松菜などを栽培します。

リサイクル部門

組合員から集めたリサイクル品を分別・資源化しています。



廃棄シッパーを減容し資源化

もりのこ保育園

働き続けられる組織づくりと地域の待機児童の減少をめざして、2018年7月に開園しました。職員のお子さんと地域のお子さんあわせて11名が元気に登園しています。



農業部門

各店舗や青果加工センターから出る野菜くずを堆肥に。できあがった堆肥を使って野菜（小松菜）を生産しています。2019年秋頃には、供給される予定です。



働きがいのある職場づくり

職員が関わり合い学び合う組織風土づくり

●実践事例報告会

年に1度全役職員が集まり（店舗職員は別日）、組合員さんとの関わりの中で気がついたことお役に立てた事例を報告し共有しています。



●コープしがカレッジ

協同組合に関わる人として、その役割を果たすことを目的に「人」や「コト」から学び、ものの見方や考え方を広げます。また、誰でもが気軽に学び、元になれる場として開講しています。



みんなが働きやすい雇用形態づくり



年齢・くらしの事情・働きかたのニーズなど、可能な限り1人ひとりの職員によりそって、長く働き続けられるための雇用制度に見直しました。専属社員（フルタイム・非正規雇用）を廃止し、正規雇用にしました。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心を持ち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識を持ち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します



職員の声

学んだことを次世代に伝えることが大切

自分が指導する側になり、その責任は非常に重いものだ学びました。相手に寄り添うことで、どのような指導が必要なのか見えてきます。これからも先輩から受け取った思いやりのバトンを後輩へつないでいきたいです。

中央大津センター組合員担当 浅井 遥太さん



後輩の溝上さんと（左：浅井さん）

事業活動における環境報告

コープしがは「2020年に向けた新たな環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みを進めてきました。ISO14001の認証は返上しましたが、「環境マネジメントシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

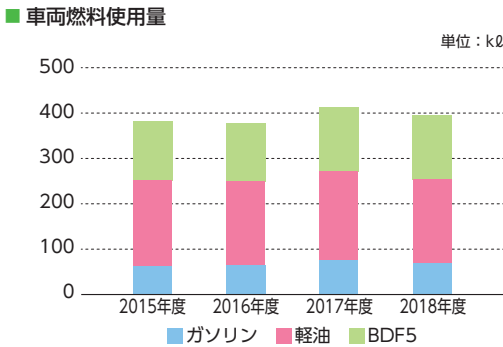
● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

2018年度環境マネジメントプログラム目標と実績 ※抜粋

環境目標	評価	2018年度の取り組み
全事業所で電気使用量を前年実績を維持します	○	電気使用量は、4,374kwhで昨年比99. 8%と削減することができました(10月度までコープかたた店をのぞく)
ガソリンの効率的な使用をすすめ、前年実績を維持します。	○	ガソリン使用量は、68, 345 ℓ で昨年比85.0%と大幅に削減することができました。(11月度までコープかたた店をのぞく)
一般廃棄物排出量を前年実績以内にします	×	廃棄物排出量は、93,356kgで昨年比149.6%と大幅に増加しました。
リサイクルの総回収量を前年実績以上にします	×	リサイクル品の回収量は、3,393tで昨年比98.5%と前年実績に届きませんでした。
コープでんきの推進をすすめます	○	2, 477人の目標に対して、2, 515人の新たな利用者が参加しました

車両燃料使用量

車両燃料は、ガソリンの使用量を大幅に削減する事ができました。また、その他ディーゼル車両のうち43%の燃料にBDF5を使用、CO₂排出量は18.6tの削減になりました。
※BDF5…廃食用油を原料としたBDF燃料を5%配合したディーゼル車燃料



環境配慮型商品の普及

		利用点数2018	利用金額2018	前年比%
	生産から廃棄を通して環境負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品	301,587	45,692,614	104.4
	適切に管理された森林資源で作られた商品	532,234	357,200,082	280.1
	持続可能な漁業で獲られた水産物で作られた商品	323,245	117,189,104	144.7
	熱帯雨林を守ることを目的に持続可能な農業を営む農園で育てられた商品	250,526	68,705,590	376.7
	発展途上国の農産物や商品を公正な価格で取引し作られた商品	15,118	5,817,386	395.6

● コープでんき

再生可能エネルギーの割合が高い電源構成であることが特徴の「コープでんき」は、3生協（コープしが・大阪いずみ市民生協・京都生協）のまとまりの力で、「料金値下げ」と「駆けつけサービス」を実現しました。

登録人数：10,755人

地球に優しい新メニュースタート！

ゼロでんき

CO₂（二酸化炭素）の**排出係数をゼロ**にしました。
※電源構成は、FIT電気100%です。※算出されるCO₂は、J-クレジットで対応しています。

100%再生可能エネルギー

再生可能エネルギー発電のFITでんき
100%

太陽光、風力、水力、バイオマスなどの自然エネルギーで発電された電力は環境に優しい電力とされています。ゼロでんきは再生可能エネルギー（FIT電気）100%の電気です。

J-クレジットの活用

J-クレジットで
CO₂ゼロ

国の認定委員会が承認した「J-クレジット」を活用することで、温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）の排出係数をゼロにしたプランを実現しました。
※J-クレジットとは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

● 県内産品の普及

- 宅配商品部で企画する県内生産物と県内産品を原材料として使用する商品
3,095品 / 前年比 109%
73,751,033円 / 前年比 114%
- 店舗での県内の産物供給高
- 産直こめ育ちさくらたまご
「エサも地産地消」をめざし、親鶏の餌の15%に県内産の飼料米を使用したたまご
108万3383点 / 3億611万円



♥ 循環型社会をめざして

*牛乳パックは、ただいまロール・おかえりティッシュに、卵パックとペットボトルは、卵パックにリサイクルされます。

リサイクル回収実績
(2018年4月～ 2019年3月) ● 2018 年度リサイクル売却実績 **59,857,111 円** () は前年比

共同購入回収物

牛乳パック回収量
年度累計 **50,470kg**
(104.8%)

玉子パック回収量
年度累計 **23,075kg**
(101.2%)

共同購入案内書回収量
年度累計 **3,263,460kg**
(107.0%)
回収率 70.8% (-6.7%)

商品仕分け袋回収量
年度累計 **34,574kg**
(95.5%)
回収率 31.8% (-1.1%)

店舗回収物

ペットボトル
年度累計 **16,464kg**
(121.6%)

ペットボトルキャップ
年度累計 **1,279kg**
(120.3%)

トレー
年度累計 **3,696kg**
(114.7%)

牛乳パック
年度累計 **7,905kg**
(111.3%)

コープしがの事業所一覧

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲972
福祉ネットワークセンター ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアサポートセンターぽこ	大津市柳川2丁目11-25
ケアサポートセンターぽこ野洲	野洲市富波甲972

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北草津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町カスリ281-1
中央草津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター	東近江市五箇荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

店舗

コープぜぜ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30
コープかたた店	大津市衣川1丁目17-1

グループ会社

株式会社タクス	野洲市富波甲972
株式会社コープシステムサービス	近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
株式会社シガフードプロダクツ	甲賀市甲南町寺庄330
株式会社滋賀有機ネットワーク	近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
株式会社ハートコープしが	野洲市富波甲963-1



生活協同組合コープしが

<http://www.pak2.com/>



- 用紙: 責任ある木質資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 331.4g/部